

〔長久手市行政評価票：平成 23 年度業務〕

担当課・係名		安心安全課 交通防犯係【問合せ・質問等の先（電話・内線番号）56-0611】							
第5次総合計画掲載		基本方針（3人がいきいきとつながるまち） 基本施策（3-3 交通安全意識を高める気持ちを育む）							
業務の名称		交通安全啓発事業							
(1) 根拠法令・条例		長久手市交通安全条例							
(2)業務期間		開始した年度	-	年度	終了（予定）年度	-	年度		
(3)業務概要	交通安全思想の普及・啓発のため、交通安全街頭活動やキャンペーンの実施、高齢者や自転車利用者ほか市民を対象とした交通安全教室の開催等により、市民の交通安全意識の啓発、交通ルールの遵守や交通マナー向上を推進し、交通事故防止を図る。				国・県・民間と類似した事業、他市町の実施の状況				
					国、県始め各市町村で実施されている。				
(4)業務の目的と指標	①対象（誰、何を対象としているか）				状態を表す指標		単位		
	長久手市民		→	対象指標	ア	人口	人		
					イ				
					ウ				
	②手段（どのような事業で）※実施した活動				→	活動指標	ア	交通安全キャンペーン実施回数	回
	年間を通じての街頭活動参加協力、各季における広報紙や自治会回覧等での広報周知、各種交通安全キャンペーンや交通安全教室の開催を実施した。また、交通安全推進協議会において市の交通安全事業について意見をいただいた。						イ	市主催交通安全教室実施回数	回
						ウ	啓発品配布数	組	
③意図（対象をどのような状態にしたいか）				→	成果指標	ア	交通安全街頭活動参加者数	人	
交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づける。						イ	市主催交通安全教室参加者数	人	
						ウ			
④成果指標設定の理由		活動参加人数により、交通安全への意識啓発の推移が測れることから目標に設定した。							
(5)指標の推移			単位	目標値	21年度	22年度	23年度	24年度(計画)	
	①対象指標	ア	人	-	48122	48845	49430	-	
		イ							
		ウ							
	②活動指標	ア	回	10	5	10	14	10	
		イ	回	30	31	39	28	30	
		ウ	組	5000	4965	4339	6897	5000	
	③成果指標	ア	人	4200	4110	4148	4594	4600	
		イ	人	2100	2781	1330	2223	2500	
		ウ							
(6)事業費の推移	事業費		千円		3980	3351	3351	3505	
	うち	国費	千円		0	0	0	0	
		県費	千円		194	118	86	0	
		一般財源	千円		3786	3233	3265	3505	
		受益者負担	千円		0	0	0	0	
	延職員数(臨職)		人		(未集計)	(未集計)	1.92	1.92	
(7)遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）									
<ul style="list-style-type: none"> ・時代の情勢により交通安全上の問題がさまざまに変化するので、時勢に応じた交通安全対策を効果的に実施してゆく必要がある。 ・平成23年度は福祉課、ファミリーサポートセンターとの協働により対象者を絞った啓発キャンペーンを実施、より効果があったと感じたので、今後も他機関の連携先を開発していく。 									
(8)評価	必要性	A	受益の範囲が不特定多数の住民に及び、財・サービスの対価の徴収ができない事業への事業					総合評価 B	
	有効性	B	国・県事業と連携して地域の実情に合わせたきめ細かい内容で、市民とともに交通安全活動の推進に努力する。						
	効率性	B	市民の参加と市民自身の交通安全意識の向上に支えられる事業。						
(9)今後の改善の方針	<p>増加傾向にある事案の交通安全対策（自転車利用ほか）について、通年で、交通安全実施計画に基づき、効果的な方法を模索しながら、周知啓発に努める。</p> <p>具体的には、自転車利用者の多い大学生に対し、大学の協力を得て交通ルール遵守、マナーアップの周知啓発を実施する、小学校と連携して児童自転車安全教室を各校で開催するなど。</p>								

行政評価チェックリスト

必要性	市が関与することは妥当か		該当	
	①	法律で実施が義務づけられている事業	<input type="checkbox"/>	
	②	受益の範囲が不特定多数の住民に及び、財・サービスの対価の徴収ができない事業	<input type="checkbox"/>	
	③	住民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	<input type="checkbox"/>	
	④	住民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは住民の不安を解消するために、必要な規制、監視指導、情報提供、相談などを目的とした事業	<input checked="" type="checkbox"/>	
	⑤	個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網（セーフティ・ネット）を整備することを目的とした事業	<input type="checkbox"/>	
	⑥	住民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	<input type="checkbox"/>	
	⑦	民間のサービスだけでは市域全体にとって望ましい質、量のサービスの確保ができないため、これを補完・先導する事業	<input type="checkbox"/>	
	⑧	市の個性、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事業	<input type="checkbox"/>	
	⑨	特定の住民や団体を対象としたサービスであって、サービスの提供を通じて、対象者以外の第三者にも受益がおよぶ事業	<input type="checkbox"/>	
	⑩	内部管理事務	<input type="checkbox"/>	
	事業内容は適切か		関連項目	該当
	⑪	事業開始時の目的を概ね達成するなど、実施意義が低下している。 (長年実施している事業、対象数が減少している事業)	(2)、(5)①	<input type="checkbox"/>
	⑫	社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化し実施意義が低下している。 (目的の設定が現状にあっていない)	(4)	<input type="checkbox"/>
	⑬	対象者、利用者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 (事業実績が前年と比べ低下している事業)	(5)②	<input type="checkbox"/>
⑭	住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 (当初計画・予算などと比較して実績等が少ない事業)	(5)②	<input type="checkbox"/>	
⑮	国や他市町と比較してサービス対象や水準を見直す余地がある。 (他市町で廃止された、他市町と比べ供給量が大きい事業)	(3)	<input type="checkbox"/>	
有効性	重複した事業が実施されていないか		該当	
	①	施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="checkbox"/>	
	②	国や県のサービスと重複している	<input type="checkbox"/>	
	③	民間のサービスと重複している	<input type="checkbox"/>	
	事業の成果はあがっているか		関連項目	該当
	④	施策の目的達成のため、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 (成果実績向上につながる事業方法が他にない)	(4)、(5)	<input checked="" type="checkbox"/>
	⑤	市の施策への貢献度が高いとはいえない。 (目標設定が適切でない、成果実績と目標が大きく乖離している)	(5)	<input type="checkbox"/>
	⑥	事業を継続しても成果の向上が期待できない。 (成果指標の実績が前年から向上していない事業)	(5)③	<input type="checkbox"/>
⑦	厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	(4)	<input type="checkbox"/>	
効率性	実施主体は適切か		該当	
	①	民間事業者、NPO法人、住民団体等を活用しても市民サービスが低下しない。	<input type="checkbox"/>	
	②	民間事業者、NPO法人、住民団体等を活用するとコストの低減が期待できる。	<input type="checkbox"/>	
	③	民間事業者、NPO法人、住民団体等が持つノウハウ等を活用できる。	<input type="checkbox"/>	
	コスト改善の余地はあるか		関連項目	該当
	④	人件費の見直しにより、コストを下げる余地がある。 (臨時職員の活用などで人件費を下げられる)	(6)	<input type="checkbox"/>
	⑤	業務内容の見直しにより、コストを下げる余地がある。 (業務内容、委託内容の精査により業務量削減がはかれる)	(3)、(6)	<input type="checkbox"/>
	⑥	事務改善によりコストを下げる余地がある。 (作業の簡素化などにより時間や無駄を省ける)	(3)、(6)	<input type="checkbox"/>
⑦	受益者負担に改善の余地がある。 (受益者負担＝受益者が負担すべき費用となっていない)	(6)	<input type="checkbox"/>	